[illegible]性を以て最大の効果を收めんとするのが最初からの願望だ當局は暴動を待つて居る會員諸君は此際先達に對する義理合ひから直接行動に出で敵の罠に陷る事のなからむ事を切に望むといつた

宣言書を一萬枚印刷して賊首された者が白樺で十一日の入廠時間に各門前に待ち受けて登場する職工に配付し宣傳する事にし一方工廠を中心とした各公開の席場を借つて工廠内の不正事件を摘發する演說會をやつて大いに輿論の喚起に努めると

隱忍と決し向上會

本部で善後策

萬斛の涙を呑んで隱忍と決した向上會では十二日朝來解雇幹部が十部に集合種々善後策につき協議してゐるが同會名古屋支部から宮下理事長十一日夕來阪小石川勞働會長芳川哲氏も十三日來援の報道があつた尙菅向上會理事は十二日夜東上日本勞働聯盟理事會に出席今回の事件の顚末を報告する筈

向上會隱忍に決す

當局の無謀を糺彈すべく

東京でも近く演說會

幹部十五名の解雇問題に關し最後の態度を決すべき向上會理事會は十一日午後七時から大阪東區島町同會本部に開會、約卅名の理事は十日朝撒布した「賊首團宣言」に對する全會員の意嚮を齎して參會それ〳〵報告する處があつたが全員の四割は直接行動を採るべしとの硬論を持し殘り六割は向上會の萬全を期する爲め千秋の恨を呑んで隱忍自重しやうとの意見で結局今回の幹部解雇事件に關しては何等積極的手段に出ない事と決したが大阪砲兵工廠の態度に就ては朝野の批判に訴ふべく既報十四日夕天王寺公會堂における無謀糺彈演說會の外に東京において二回、大阪中央公會堂においても一回演說會を催す事となつた

尙同會にては此際愈々結束を堅むるに努むると共に後任幹部養成の爲め各土曜に勞働學校を開き別に作業服製造工場を自營して組合の資金調達に資する事となり來五月一日の勞働祭には全會員約一萬人の示威行列をなし氣勢を擧げると

工廠馘首職工

給料を拂ふ

大阪砲兵工廠で十五日馘首した八木向上會長以下十五名に對し十四日三月分の給料を支拂ふので軍隊では同時校一、下士一、兵卒三十名、憲兵五名を屯せしめたが午後二時頃馘首者の内十七年餘も勤續し手當千餘圓を交付され人望のあつた吉田寬治が强か泥醉して登廠し衛兵と小競合をし當局に管を卷いたので其豐富な頻繁により「關羽吉田」の異名を取つて居た同氏の面目を丸潰しにして了つた飛んだ餘興話の外他の馘首者は溫順しく給料受取に出頭してゐると

東京側の態度

大阪砲兵工廠職工馘首問題に就き東京官業勞働團體幹部五十餘名は十三日午後六時より府下大塚中町西信寺に上京中の向上會幹部廣永須賀兩氏を招き東京官業團體の執るべき態度に就き協議の後直に横田、安達、芳川三幹部下阪し大阪天王寺公會堂に開催の向上會大會に參加する筈である（東京電話）

同成會の起否

大阪砲兵工廠の向上會幹部馘首問題に就て同官業勞働組合たる八幡製鐵所同成會では其の起否につき熟慮中であつたが、同會でも略意嚮具體化したものか十三日事情調査と應援の爲め會員穗阪新一を大阪に急派した、同人の復命如何によつて更に態度を定めるらしい（八幡電話）

勞働祭の相談

白表は十二人

日本勞働總同盟關西聯合會では四月二日の會合の後を受けて十三日夜大阪市北區西野田の山名義館氏宅にその理事會を開いた、協議の結果問題の勞働祭は其筋の壓迫もあり神戸、京都、大阪各支部で思ひ〳〵に行ふことに決めたが勞働祭の趣意を認めたリーフレットは半紙大のもの約十萬枚を印刷して十五六日から夜店縁日等機會ある毎に撒布宣傳する筈同時に何等の組合に加盟して居らぬ勞働者に組合加盟の必要を說いたビラも同樣撒布するこ大阪の勞働祭には向上會等の官業勞働も協力することに決めて居る尙同會が今度作へることになつた白表記入の申告は各支部から相當あつたが結局資本家で八名官憲側に三名、勞働運動者に一名の十二名記入になり資本家には宮崎敬介、松方幸次郎諸氏等官憲では有吉忠一氏等の名前があるといふ

櫻の下の慰安會

大阪被服支廠で

大阪陸軍被服支廠では十五日午前九時から創設滿二十週年記念祭を兼ね從業職工並に同家族約四千名の春季慰安會を開いた

廠内では今眞盛りに櫻が咲き亂れ從業少女工十三名が被服舞踏團なるものを作つて賣塚少女歌劇そこ退けの奔放な姿態で舞踏を演じ其他女工七百[illegible]男工[illegible]餘名が[illegible]車各種遊物で賑ひ又奇術[illegible]、義太夫等餘興席を設けて軍隊と云ふ趣ぶつた一廓にも十二分の歡樂境を現出して四時頃散解した、尙ほ同日は物故從業員都築技手外九十三名の弔魂祭十五年以上勤續判任官、職人、職工三十一名、十年以上同樣七十名の表彰式をも行つた

大阪向上會

演說會盛況

大阪砲兵工廠向上會の幹部解雇に対する糺彈大演說會は十四日午後六時半から豫定の通り天王寺公會堂に[illegible]開會前から聽衆が詰掛け[illegible]の入場料を取つたにもかゝはらず[illegible]で一[illegible]百人といふ入場者があつた大阪砲兵隊から[illegible]三十餘[illegible]の内[illegible]から[illegible]の日本勞働[illegible]小石川勞働會などの面々交々壇上に立つて氣勢を擧げたが左したる騷ぎもなく十時散會した（大阪）

大阪工廠の爭議は近く解決せん

大日本救世團の調停

本田理事は廣島から

野澤少將は東京から急行

大阪砲兵工廠横山提理彈劾の決議から工廠當局では主謀者で實行委員である八木向上會長以下十餘名を馘首した爲に、向上會員は結束して工廠に當り、場合に依つて盟罷業の擧に出づる覺悟をも定め、一方馘首の八木會長以下は工廠に於ける不正事實を摘發して

▼世論に訴へんと敦圖き事態險惡になつて來たので、曩に東京砲兵工廠爭議の[illegible]決[illegible]た經驗のある大日本救世團で北際調停の勞をとる事になつて非公式に工廠當局及向上會に對し仲裁希望を[illegible]達した、双方より諒解を得たので、愈

▼正式の調停に起つ事になり、廣島地方旅行中の本田理事は急遽大阪に赴き、又[illegible]部からは應援として野澤少將が本日午[illegible]下阪したからこれに依つて爭議も解決されるであらう期待され居る

提理彈劾の演說會と其の警戒

東京、八幡其他からも應援來阪

運動に加はれば直に解雇

向上會は、八木會長以下十名の最高幹部を解雇されしも、多數の[illegible]を出すに忍びずとて、隱忍の態度に出る事となつたが、一方解雇は、横山提理彈劾の手を擴げて十四日午後六時より天王寺公會堂に[illegible]說會を催し、八木、吉田、廣永等の正副會長を首め、東京砲兵工廠よりは吉川、安達兩氏八幡製鐵所からは勝野氏等應援として來阪した外、日本勞働總同盟大阪鐵工組合等よりも西尾、坂本氏等横山提理彈劾と

不當解雇の事實を指摘して獅子吼する筈であるが、工廠側では同會員にして此演說會に參加の[illegible]は默許すべきも、演壇に飛び出し、又は運動に加はるが如き事あらば、即座に解雇せん意向を有し各工場に

衛兵憲兵隊を配置して、朝來嚴重に監視を加へて居る、尙ほ同夜の演說會には、憲兵隊よりも出張して、其議論過激に渉る時は、直に中止を命ずる方針であると（大阪電話）

向上會の糺彈演說會

砲兵工廠不當解雇に對する叫び

大阪砲兵工廠の不當解雇に對する向上會主催官憲横暴糺彈演說會は十四日午後七時から天王寺公會堂に開會聽衆約千[illegible]關羽吉田寬治氏が司會者となり[illegible]勞働組合の田中[illegible]西向上會の川村諸氏等の工廠攻擊に次いで八木向上會長は横山提理は從來乘馬で出勤してゐたのが昨今は自動車に改めた之は提理が自ら良心の咎めを受けてゐる證據である――官業勞働者殊に宇治の火藥庫の勞働者が結束したら爆裂彈が……と言ふや忽ち金屏風の蔭から「注意！」の聲が掛り八木會長生れて始めて臨監の注意を受けたが此時聽衆は俄にイキリ立ち臨監の警官に對し「金屏風を取れ」「顏を出せ」と叫び到頭金屏風を除き去る騷ぎ續いて立つた新進會の安藤國松氏は吃々とどもり乍ら「臨監が金屏風の蔭にかくれて居るのは諸君に顏を見られるのが恥しいからだ」と揶揄して喝采を博し續いて前日市電を解雇された清水石松氏登壇氣焰を擧げ女給同盟の世話役山内嘉市氏はレーニンの言葉を引用して注意を喰ひなどし最後に東京より應援の芳川小石川勞働會長安藤日本勞働聯盟理事長の演說あり十時散會した尙當夜の聽衆中向上會員以外の人に對し八木會長から向上會の運動方針に對する批判の投書を依頼したが若し彈劾打切を可とする意見が多ければ次回の演說會（多分中央公會堂に開會）で休戰宣言をなす豫定で八木氏等は十六日名古屋に赴き同會支部會員に報告演說をなし畢つて東上官業勞働者團に對し同樣報告をすると